

旧東海道 ほどがや かわら版

1600(慶長5)年、関ヶ原の戦いで勝利をおさめた徳川家康は次々と新しい政策を展開しました。街道の整備もその一環として進められ、1601(慶長6)年に東海道の伝馬制度が定められました。

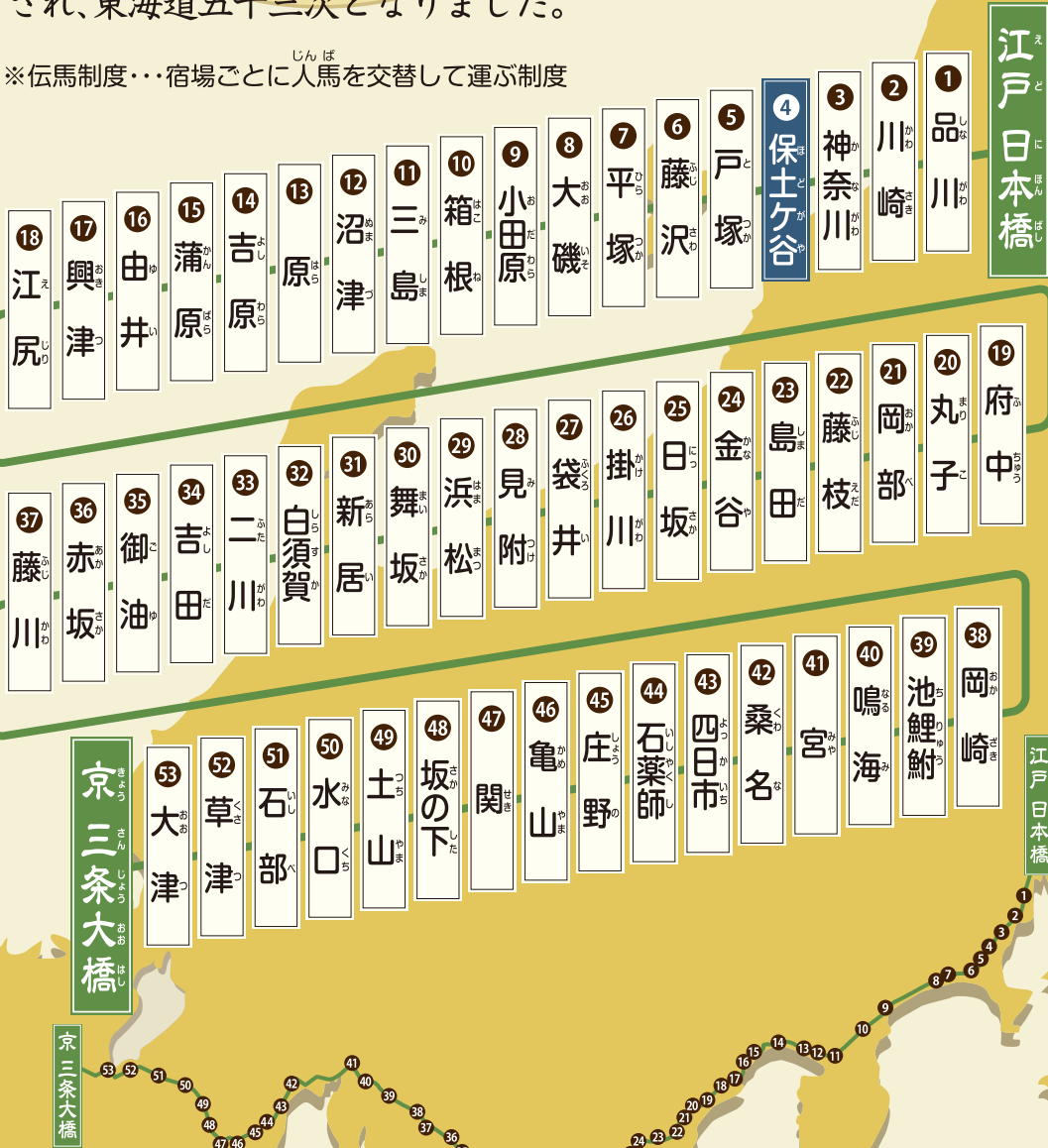


徳川 家康

当時は江戸と京都の間には37の宿場が置かれ、横浜には神奈川宿、保土ヶ谷宿の2宿がありましたが、1604(慶長9)年に戸塚宿が加わり、横浜の3つの宿場がそろいました。

1624(寛永元)年には江戸と京都の間に53の宿場が整備され、東海道五十三次となりました。

※伝馬制度・・・宿場ごとに人馬を交替して運ぶ制度



参考文献

「歩いて見て調べてみよう! 神奈川の東海道
— 自主研究に役立つ街道図鑑 —」
神奈川東海道ルネサンス推進協議会

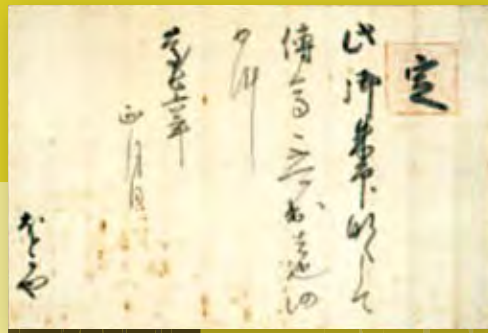
旧東海道と宿場制度

保土ヶ谷宿の
成り立ちと特色

宿場ってどんなもの？

旅行者の宿泊・休息のための宿屋・茶屋
や、人馬の中継をする設備をもった現在の
ターミナル駅のようなものです。

「伝馬朱印状」という文書が幕府から発給
されて初めて宿場として認められました。



伝馬朱印状
かるべ 綏一氏 所蔵

神奈川県内で現存するのは「**こしだけ**」
保土ヶ谷宿成立の
根拠となる文書



保土ヶ谷宿絵図
かるべ 綏一氏 所蔵



**旧東海道は途中で
ルート変更があった！**
実は、東海道は1648年頃にルートが
変更されています。変更後のルートが、今
の相鉄線の天王町駅前から国道1号を通過
して元町橋に出る道です。
宿場も1601年の成立当時は権太坂に
近い元町を通っていましたが、ルート変更
に合わせ、天王町商店街から外川神社まで
の範囲(約2km)に移転し、それまでの場所
が元町と呼ばれるようになりました。
ルート変更の理由や、変更前のルートは
今も正確には分かっていません。

**権太坂は旧東海道の
最初の難所！**
日本橋から保土ヶ谷までの距離は八里
九丁(約32km)。成人男性が1日に十里ほど
歩いたといわれる当時、最初の宿泊地とし
ては、少し早い宿場でした。しかし、江戸を
出て最初の難所だった権太坂をこえる前
には、ちょうどいい休息の場だったのかもしれ
ません。
※1里＝約4km

其の一

ほん じん わき ほん じん
本陣・脇本陣

さんきんこうたい だいまょう ぼくふ くげ
参勤交代の大名や幕府の役人、公家
などが宿泊しました。
本陣だけでは足りなくなると、脇本
陣が使われました。



保土ヶ谷本陣跡

其の二

ちゃ や ほん じん
茶屋本陣

ひつてき
本陣に匹敵する規模の茶屋で、大名
も利用しました。



はたご ほんかね こ やあと
旅籠本金子屋跡

其の三

は た ご や
旅籠屋

一般の旅人が宿泊しました。

其の四

ちゃ や
茶屋

旅人の休息のための
お店です。

保土ヶ谷の名物は
「ぼたもち」だったようです。



其の五

とい や ば
問屋場

荷物を運ぶ人や馬の手配を行うところです。

其の六

すけ ごう かい しょ
助郷会所

宿場でまかないきれない人馬を周辺の助郷
村から動員するための手続きをしていました。

其の七

こう さつ ば
高札場

幕府の法令を書いた高札が掲げられている
場所で、宿泊代なども示されていました。



復元された高札場(神奈川区)

其の

一

かたびら ばし あと 帷子橋跡モニュメント

当時、東海道には大きな橋が少なく、帷子橋(新町橋)は葛飾北斎や歌川広重など、浮世絵の題材として数多く描かれています。

昭和40年頃には、川があふれる事が多かったため、天王町駅の南側から現在の位置に河川改修が行われました。跡地の天王町駅前公園には、帷子橋跡モニュメントがあります。



とうかいどう こじゅうさんつきのうち ほどがや しんまちばし
東海道五拾三次之内 保土ヶ谷 新町橋
しやたいひろしげ ほえいどうばん
初代広重(保永堂版) 横浜市歴史博物館 所蔵



帷子橋跡モニュメント

行き方 相鉄線「天王町」駅下車すぐ

其の

二

い ち り づ か 東海道松並木プロムナード・一里塚

区民主体の「松並木プロムナード実行委員会」と区の協働により、平成19年に東海道の松並木と一里塚が復元されました。

保土ヶ谷宿の京都側の入口であった上方見附や、街道の道のりの目安として設置された一里塚が再現されています。

また、箱根駅伝の走行コースでもあります。

行き方 JRR「保土ヶ谷」駅下車 徒歩約15分



東海道松並木プロムナード



其の

三

さ かい ぎ 権太坂と境木

昔は、地蔵堂境内にけやきの大木があり、ここが武蔵国と相模国の国境であることから「境木」という地名がつけられたといわれています。

地蔵堂は1659(万治2)年頃の建立といわれています。

また、地蔵堂前の広場には、武相国境モニュメントがあります。

行き方 JR「東戸塚」駅下車 徒歩約15分



武相国境モニュメント

旧東海道 ほどがや かわら版

とう かい どう ふう けい かい どう 東海道 風景街道

横浜市内約22kmの旧東海道を活動範囲とし、沿道にある一里塚や本陣跡など多数の歴史的な地域資源を活用し、ウォークイベントやPR活動などに取り組んでいます。

「道草をしながら、まちを楽しんで歩いてほしい」という気持ちをもって、旧東海道を愛する人々が、横浜国道事務所や旧東海道沿道の区役所などと連携しながら活動しています。



みず べ あい ご かい 保土ヶ谷宿松並木プロムナード水辺愛護会



松並木と一里塚の復元に奔走した「松並木プロムナード実行委員会」が、復元後に移行して設立された団体です。

松並木復元後も周辺の水辺環境を良好に保ち、快適な水辺とふれあい親しむことができるように、松並木沿道や今井川の美化活動などを行っています。

また、地域の歴史・文化とまちづくり、水辺の環境などについての勉強会やお正月恒例の箱根駅伝での応援イベントも行っています。

ほどがやガイドボランティアの会

区民や保土ヶ谷区を訪れる人々を対象に、区内及び隣接各区の自然・歴史・街並みなどをガイドウォークする団体です。

ウォークを通じて、保土ヶ谷のまちづくり、ひとづくりに貢献し、区の歴史的特性や地域性、豊かな自然などの地域資源の発見・発掘を行っています。

また、こうした魅力をより広く発信していけるよう、ガイドの育成も行っています。



保土ヶ谷宿で活動している団体

旧東海道 ほどがや かわら版

「浮世」という言葉には「現代風」という意味もあり、浮世絵は、江戸時代の人物や風景を描いた絵で、西洋近代絵画にも影響を与えたといわれています。

名所が多い東海道をテーマとしたものは多く、歌川広重の「東海道五十三次」などの作品が有名です。

また、江戸から各地へのお土産としても喜ばれました。



旧東海道と浮世絵



とうかいどう ごじゅうさんつぎのうち ほどがや しんまちばし
東海道五拾三次之内 保土ヶ谷 新町橋

しよだいひるしげ ほえいどうほん
初代広重(保永堂版) 横浜市歴史博物館 所蔵

保土ヶ谷宿を題材とする浮世絵の中で、最も多く描かれたのが、帷子橋(新町橋)です。帷子橋は、保土ヶ谷宿を象徴する風景でした。



とうかいどうめいしよのうち ごんたざか ぎょうさい ちかまる
東海道名所之内 権太坂 暁斎 周磨

横浜市中央図書館 所蔵

背景には、権太坂の急な登りを陰影で表現し、
前面には、対照的に明るく、やや面白みのある境
木立場の茶屋の情景が描かれています。